

平成26年5月9日

東京地下鉄株式会社

## 第10期(平成26年3月期)決算について

(金額単位:百万円)

百万円未満切捨て表示

## 1. 経営成績の概要

## (1) 全体概況

- ・当期の決算は、緩やかな景気回復による経済活動の活性化等に伴い、旅客運輸収入が増加したこと等により、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益がいずれも増加

上段:連結数値 下段:個別数値

	25年3月期 決算 A	26年3月期 決算 B	増減	
			金額 B-A	率 (B-A)/A
営業収益	382,249 (343,691)	393,986 (355,385)	+11,737 (+11,693)	+3.1% (+3.4%)
営業費	294,080 (260,960)	293,682 (261,554)	△397 (+594)	△0.1% (+0.2%)
営業利益	88,168 (82,731)	100,303 (93,830)	+12,135 (+11,099)	+13.8% (+13.4%)
経常利益	73,381 (68,825)	86,514 (81,415)	+13,132 (+12,590)	+17.9% (+18.3%)
当期純利益	45,240 (43,080)	51,654 (49,380)	+6,413 (+6,300)	+14.2% (+14.6%)
包括利益	45,250	51,680	+6,429	+14.2%

## ① 営業収益 3,939億円(前期比+117億円)

- ・緩やかな景気回復による経済活動の活性化等に伴い、旅客運輸収入が増加したこと等により、営業収益は増加

## ② 営業費 2,936億円(前期比△3億円)

- ・当社の減価償却費が減少したものの、当社の電気料などその他費用が増加したことにより、概ね前期並み

## ③ 営業利益 1,003億円(前期比+121億円)

- ・営業外収益は、2億円増加の22億円
- ・営業外費用は、支払利息の減少等により、7億円減少の160億円

[営業外損益 △137億円(前期比+9億円)]

## ④ 経常利益 865億円(前期比+131億円)

- ・特別利益は、鉄道施設受贈財産評価額等の計上により、167億円
- ・特別損失は、固定資産圧縮損等の計上により、166億円

[特別損益 +0億円(前期比△0億円)]

## ⑤ 当期純利益 516億円(前期比+64億円)

## (2)セグメント別概況

		25年3月期 決算 A	26年3月期 決算 B	増減	
				金額 B-A	率 (B-A)/A
運輸	営業収益 (うち対外部顧客)	338,373 (323,522)	345,268 (331,281)	+6,895 (+7,759)	+2.0% (+2.4%)
	営業費	257,531	255,257	△2,273	△0.9%
	営業利益	80,842	90,011	+9,168	+11.3%
流通・ 不動産	営業収益 (うち対外部顧客)	39,180 (39,123)	41,848 (41,788)	+2,667 (+2,664)	+6.8% (+6.8%)
	営業費	34,376	35,895	+1,518	+4.4%
	営業利益	4,804	5,952	+1,148	+23.9%
その他	営業収益 (うち対外部顧客)	20,750 (19,603)	22,196 (20,916)	+1,445 (+1,313)	+7.0% (+6.7%)
	営業費	18,292	17,932	△360	△2.0%
	営業利益	2,458	4,264	+1,805	+73.5%
調整額	営業収益 (うち対外部顧客)	△16,055 -	△15,326 -	+728 -	- -
	営業費	△16,119	△15,402	+717	-
	営業利益	63	75	+11	+18.5%
連結	営業収益 (うち対外部顧客)	382,249 (382,249)	393,986 (393,986)	+11,737 (+11,737)	+3.1% (+3.1%)
	営業費	294,080	293,682	△397	△0.1%
	営業利益	88,168	100,303	+12,135	+13.8%

### ①運輸業

- ・ 緩やかな景気回復による経済活動の活性化等に伴い、主として旅客運輸収入が増加したことに加え、当社の減価償却費が減少したこと等により、増収増益

### ②流通・不動産事業

- ・ 主としてベルビー赤坂のリニューアル、Echika fit永田町の開業により、増収増益

### ③その他事業

- ・ デジタル広告の導入拡大等に伴う広告収入の増加や、トンネル内での携帯電話利用サービスが通期で寄与したこと等により、増収増益

## 2. 財政状態及び長期債務の概要

- ・ 当期末の総資産額は、設備投資に伴う固定資産の増等により、前期末比299億円の増加
- ・ 当期末の負債額は、長期債務の返済等により、前期末比188億円の減少
- ・ 当期末の純資産額は、主として当期純利益の繰入により、前期末比488億円の増加

	25年3月期 期末 A	26年3月期 期末 B	増減	
			金額 B-A	率 (B-A)/A
資産合計	1,269,341	1,299,323	+29,981	+2.4%
負債合計	848,746	829,903	△18,842	△2.2%
純資産合計	420,595	469,419	+48,824	+11.6%
長期債務残高	664,863	627,431	△37,432	△5.6%
自己資本比率	33.1%	36.1%	-	-
D/E レシオ	1.6倍	1.3倍	-	-

(注1 長期債務残高＝長期借入金残高＋社債残高)

(注2 D/Eレシオ＝長期債務残高／純資産額)

## 3. キャッシュ・フローの概要

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の増加等により、1,271億円の資金の流入(前期比63億円の収入増)
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等により、702億円の資金の流出(前期比98億円の支出減)
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入れや社債の発行があったものの、長期債務の返済及び配当金の支払いにより、492億円の資金の流出(前期比22億円の支出減)

	25年3月期 決算 A	26年3月期 決算 B	増減 金額 B-A
営業活動による キャッシュ・フロー	120,842	127,143	+6,301
投資活動による キャッシュ・フロー	△80,132	△70,267	+9,865
(フリー・ キャッシュ・フロー)*	(40,709)	(56,876)	(+16,166)
財務活動による キャッシュ・フロー	△51,463	△49,259	+2,204
現金及び現金 同等物の増減額	△10,754	7,616	+18,371
現金及び現金 同等物の期末残高	30,955	38,572	+7,616

\*(フリー・キャッシュ・フロー)＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

【参考1】平成26年3月期 連結損益計算書

(単位:百万円)	25年3月期 決算 A	26年3月期 決算 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
営業収益	382,249	393,986	+11,737	+3.1%	旅客運輸収入 +13,628 車両使用料 △2,827
営業費	294,080	293,682	△397	△0.1%	
営業利益	88,168	100,303	+12,135	+13.8%	
営業外収益	2,012	2,236	+224	+11.1%	
営業外費用	16,799	16,025	△773	△4.6%	
(うち支払利息)	(16,606)	(15,856)	(△749)	(△4.5%)	
経常利益	73,381	86,514	+13,132	+17.9%	
特別利益	6,157	16,703	+10,545	+171.3%	受贈財産評価額 +11,822 補助金 △1,564
特別損失	6,054	16,683	+10,628	+175.5%	固定資産圧縮損 +10,412
税金等調整前 当期純利益	73,484	86,534	+13,050	+17.8%	
法人税等	28,243	34,879	+6,636	+23.5%	法人税、住民税及び 事業税 +4,179 法人税等調整額 +2,456
当期純利益	45,240	51,654	+6,413	+14.2%	

(百万円未満切捨て表示)

**【参考2】平成26年3月期 連結貸借対照表**

(単位:百万円)	25年3月期 期末 A	26年3月期 期末 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
流動資産	79,181	95,324	+16,142	+20.4%	{ 短期貸付金(現先) +18,997 未収金 +3,555 譲渡性預金 Δ11,500
現金及び預金	19,459	19,582	+123	+0.6%	
未収運賃	19,426	23,725	+4,298	+22.1%	
その他	40,295	52,016	+11,721	+29.1%	
固定資産	1,190,160	1,203,998	+13,838	+1.2%	前受運賃 +7,742
有形固定資産	1,062,508	1,070,022	+7,514	+0.7%	
無形固定資産	92,688	93,570	+881	+1.0%	
投資その他の資産	34,963	40,405	+5,442	+15.6%	
資産合計	1,269,341	1,299,323	+29,981	+2.4%	
流動負債	168,799	173,920	+5,120	+3.0%	
1年内返済長期借入金 及び1年内償還社債	57,416	42,681	Δ14,734	Δ25.7%	
未払金	31,443	41,509	+10,066	+32.0%	
未払法人税等	17,795	19,571	+1,776	+10.0%	
その他	62,144	70,157	+8,012	+12.9%	
固定負債	679,947	655,983	Δ23,963	Δ3.5%	
社債	370,000	370,000	-	-	
長期借入金	237,447	214,749	Δ22,697	Δ9.6%	
その他	72,499	71,233	Δ1,266	Δ1.7%	
負債合計	848,746	829,903	Δ18,842	Δ2.2%	
純資産	420,595	469,419	+48,824	+11.6%	
負債・純資産合計	1,269,341	1,299,323	+29,981	+2.4%	

(百万円未満切捨て表示)

**【参考3】平成26年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書**

(単位:百万円)	25年3月期	26年3月期	増減 金額	主な増減要因
	決算	決算		
	A	B	B-A	
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,842	127,143	+6,301	
税金等調整前当期純利益	73,484	86,534	+13,050	
減価償却費	71,896	68,588	△3,307	
営業債権の増減額	△1,701	△7,891	△6,189	未収運賃の増等
その他	△2,730	10,356	+13,087	前受運賃の増等
法人税等の支払額	△20,105	△30,444	△10,339	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,132	△70,267	+9,865	
設備投資額	△85,417	△75,889	+9,528	
補助金の受入れによる収入	2,565	4,574	+2,008	
その他	2,719	1,046	△1,672	
(フリー・キャッシュ・フロー)	40,709	56,876	+16,166	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,463	△49,259	+2,204	
長期借入れ及び社債の発行による収入	9,943	19,943	+10,000	
長期借入金及び社債の償還による支出	△50,805	△57,432	△6,626	
配当金の支払額	△10,458	△11,620	△1,162	
その他	△143	△150	△6	
現金及び現金同等物の増減額	△10,754	7,616	+18,371	
現金及び現金同等物の期首残高	41,709	30,955	△10,754	
現金及び現金同等物の期末残高	30,955	38,572	+7,616	

(百万円未満切捨て表示)

【参考4】平成26年3月期 個別損益計算書

(単位:百万円)	25年3月期	26年3月期	増減		主な増減要因
	決算 A	決算 B	金額 B-A	率 (B-A)/A	
鉄道事業営業収益	332,809	342,757	+9,948	+3.0%	
旅客運輸収入	298,651	312,280	+13,628	+4.6%	定期 +6,470 定期外 +7,158
鉄道線路使用料収入	1,617	1,540	△77	△4.8%	
運輸雑収	32,540	28,937	△3,602	△11.1%	車両使用料 △2,827 広告料金収入 △889
鉄道事業営業費	254,632	254,891	+258	+0.1%	
人件費	83,821	84,346	+524	+0.6%	修繕費 +1,664
経費	93,549	96,875	+3,326	+3.6%	電気料 +1,542
諸税	8,668	8,658	△10	△0.1%	管理委託費 +1,184
減価償却費	68,592	65,011	△3,581	△5.2%	手数料 +639 車両使用料 △2,828
鉄道事業営業利益	78,176	87,866	+9,690	+12.4%	
関連事業営業収益	10,882	12,627	+1,744	+16.0%	不動産賃貸収入 +1,718
関連事業営業費	6,327	6,663	+335	+5.3%	
関連事業営業利益	4,554	5,964	+1,409	+30.9%	
全事業営業利益	82,731	93,830	+11,099	+13.4%	
営業外収益	2,925	3,658	+733	+25.1%	
営業外費用	16,831	16,073	△757	△4.5%	支払利息 △748
経常利益	68,825	81,415	+12,590	+18.3%	
特別利益	6,155	16,700	+10,545	+171.3%	受贈財産評価額 +11,822
特別損失	5,904	16,574	+10,670	+180.7%	固定資産圧縮損 +10,412
税引前当期純利益	69,075	81,540	+12,465	+18.0%	
当期純利益	43,080	49,380	+6,300	+14.6%	

(百万円未満切捨て表示)

【参考5】平成26年3月期 個別貸借対照表

(単位:百万円)	25年3月期 期末 A	26年3月期 期末 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
流動資産	72,806	88,675	+15,868	+21.8%	
現金及び預金	17,785	17,631	△154	△0.9%	
未収金	7,277	11,659	+4,382	+60.2%	
短期貸付金	6	19,003	+18,996	-	現先
有価証券	11,500	-	△11,500	△100.0%	譲渡性預金
その他	36,237	40,381	+4,143	+11.4%	未収運賃 +4,645
固定資産	1,188,904	1,197,580	+8,675	+0.7%	
鉄道事業固定資産	1,041,455	1,037,561	△3,894	△0.4%	
関連事業固定資産	41,302	41,818	+516	+1.3%	
各事業関連固定資産	17,189	16,806	△382	△2.2%	
建設仮勘定	47,224	59,318	+12,093	+25.6%	
投資その他の資産	41,733	42,076	+343	+0.8%	
資産合計	1,261,711	1,286,255	+24,543	+1.9%	
流動負債	181,051	188,320	+7,268	+4.0%	
1年内返済長期借入金	27,416	32,681	+5,265	+19.2%	
1年内償還社債	30,000	10,000	△20,000	△66.7%	
未払金	31,712	40,920	+9,207	+29.0%	
未払法人税等	16,448	17,892	+1,443	+8.8%	
その他	75,473	86,826	+11,352	+15.0%	前受運賃 +7,742
固定負債	672,728	652,218	△20,510	△3.0%	
社債	370,000	370,000	-	-	
長期借入金	237,447	214,749	△22,697	△9.6%	
退職給付引当金	49,724	49,574	△149	△0.3%	
その他	15,557	17,894	+2,337	+15.0%	
負債合計	853,780	840,538	△13,242	△1.6%	
純資産	407,930	445,716	+37,785	+9.3%	
株主資本	407,898	445,659	+37,760	+9.3%	
評価・換算差額等	31	57	+25	+81.6%	
負債・純資産合計	1,261,711	1,286,255	+24,543	+1.9%	

(百万円未満切捨て表示)



【参考6】平成26年3月期 長期債務残高の推移

(単位:百万円)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	構成割合
借入金	460,432	414,895	375,600	345,710	336,558	337,875	319,996	293,840	305,668	264,863	247,431	39.4
政府借入金	310,744	283,357	258,864	236,753	216,891	197,717	179,462	163,758	149,814	136,302	123,250	19.6
財政融資資金	272,330	256,398	240,342	224,390	208,910	193,302	178,250	163,758	149,814	136,302	123,250	19.6
簡保積立金	38,414	26,959	18,522	12,363	7,981	4,415	1,212	-	-	-	-	-
無利子借入金	134,217	112,033	89,849	67,665	48,430	33,188	21,320	12,444	5,698	1,497	-	-
民間借入金	14,986	19,070	26,550	41,000	71,000	106,760	119,040	117,480	150,020	126,960	124,100	19.8
福祉医療機構借入金	484	434	337	291	237	210	173	157	136	103	81	0.0
社債	453,799	444,242	437,911	442,089	434,045	415,000	415,000	420,000	400,000	400,000	380,000	60.6
社債	-	20,000	20,000	50,000	90,000	90,000	90,000	120,000	150,000	160,000	170,000	27.1
政府引受交通債券	51,799	32,242	25,911	17,089	9,045	-	-	-	-	-	-	-
公募交通債券	402,000	392,000	392,000	375,000	335,000	325,000	325,000	300,000	250,000	240,000	210,000	33.5
合計	914,231	859,137	813,511	787,799	770,603	752,875	734,996	713,840	705,668	664,863	627,431	100.0
(有利子負債残高)	780,013	747,103	723,662	720,133	722,173	719,687	713,675	701,395	699,970	663,365	627,431	100.0
債務残高指数 (16年3月期=100)	100.0	94.0	89.0	86.2	84.3	82.4	80.4	78.1	77.2	72.7	68.6	

※債務残高は、短期借入金、リース債務を除いた数値である

(百万円未満切捨て表示)

## 【参考7】平成26年3月期 運輸成績の概要

[運輸成績は、前期比で、輸送人員(合計)が4.5%増、旅客運輸収入(合計)が4.6%増と好調]

区分	輸 送 人 員			
	25年3月期	26年3月期	増減	
	A	B	人員 B-A	率 (B-A)/A
	千人	千人	千人	%
定 期	1,336,498 (3,662)	1,400,356 (3,837)	+63,858	+4.8
定 期 外	1,012,414 (2,774)	1,054,438 (2,889)	+42,023	+4.2
合 計	2,348,913 (6,435)	2,454,795 (6,725)	+105,881	+4.5

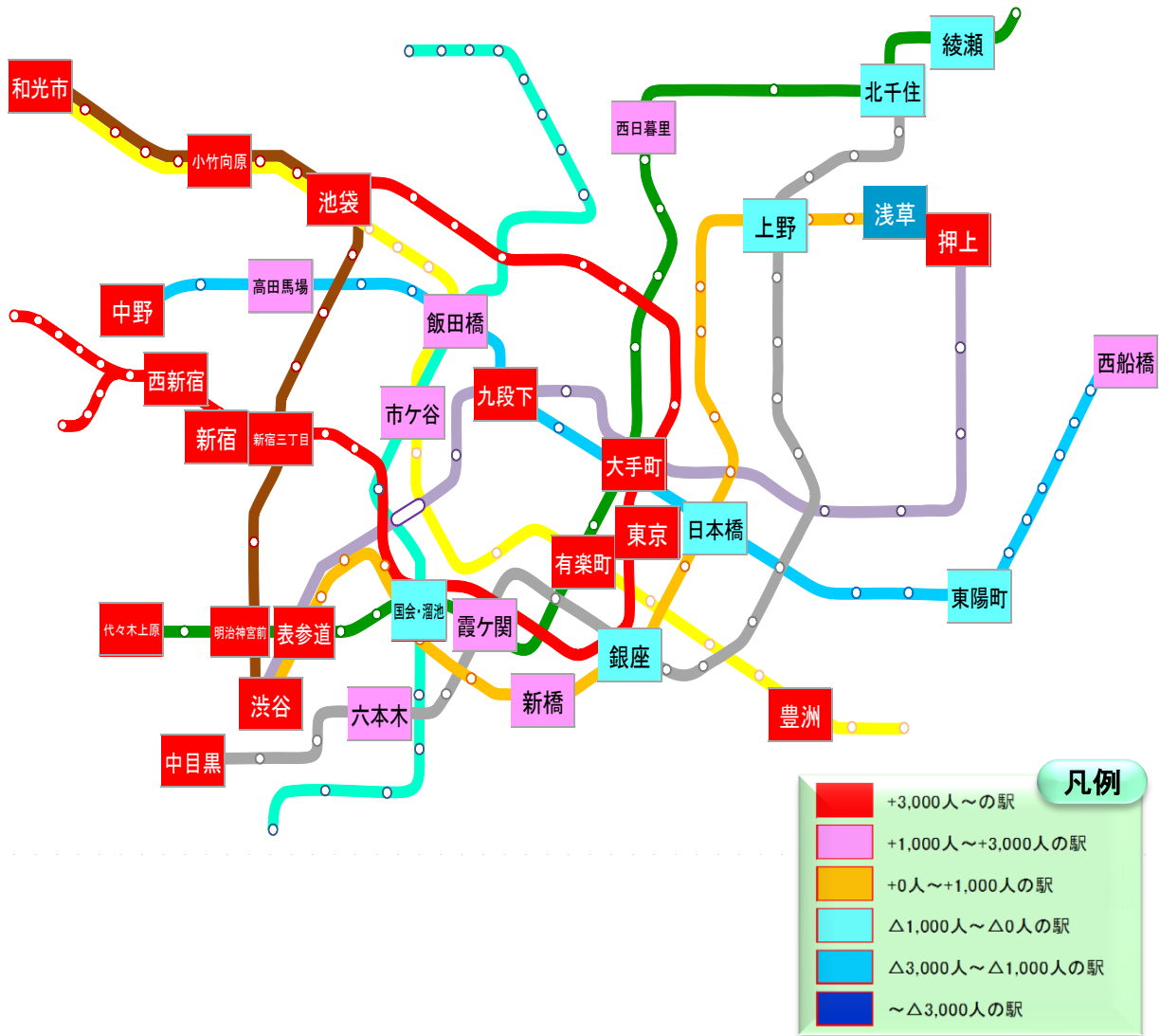
区分	旅 客 運 輸 収 入			
	25年3月期	26年3月期	増減	
	A	B	金額 B-A	率 (B-A)/A
	百万円	百万円	百万円	%
定 期	129,691	136,161	+6,470	+5.0
定 期 外	168,959	176,118	+7,158	+4.2
合 計	298,651	312,280	+13,628	+4.6

(注)1. ( )内は1日平均

2. 単位未満切捨て表示(1日平均輸送人員は除く)

## 【参考8】主要駅における前期との1日平均乗車人員の比較

○前期比では、都心・副都心のビジネスエリアの駅（東京、大手町、豊洲、西新宿等）と副都心線関連の駅を中心に好調です。



※平成25年3月期における、ご利用の多い上位30駅と明治神宮前、新宿三丁目、西新宿及び浅草を記載

## 【参考9】相互直通運転を開始した副都心線のご利用状況

- 平成25年3月16日の東急東横線・横浜高速みなとみらい線との相互直通運転開始以来、多くのお客様にご利用頂いています。
- 平成26年3月期の副都心線の1日平均輸送人員は、47.6万人/日（定期：27.4万人/日、定期外：20.2万人/日）となり、前期比で+30.1%となりました。

### 【副都心線1日平均輸送人員(前期比)】

合計			定期			定期外		
1日平均	増減	増減率	1日平均	増減	増減率	1日平均	増減	増減率
476千人	+110千人	+30.1%	274千人	+66千人	+31.7%	202千人	+44千人	+27.9%

### 副都心線主要駅の乗車人員の変化(前期比)

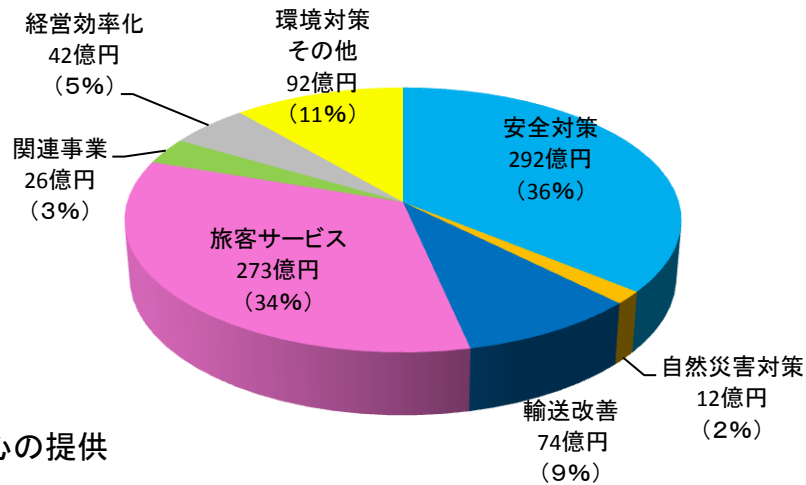
(人/日, %)

区 分	合 計			定 期			定期外		
	1日平均	増減	増減率	1日平均	増減	増減率	1日平均	増減	増減率
副・池袋	49,785	7,776	18.5%	28,273	6,264	28.5%	21,511	1,511	7.6%
副・新宿三丁目	40,179	12,479	45.1%	14,605	4,836	49.5%	25,573	7,643	42.6%
副・明治神宮前	14,921	4,140	38.4%	3,086	1,248	67.9%	11,834	2,891	32.3%
副・渋谷	118,046	48,104	68.8%	66,286	28,059	73.4%	51,759	20,044	63.2%

## 【参考10】平成26年3月期における当社グループの主な取組

### 1. 設備投資実績（当社）について

平成26年3月期は、旅客サービスや安全対策を中心に、815億円の設備投資を実施しました。



### 2. 主な取組について

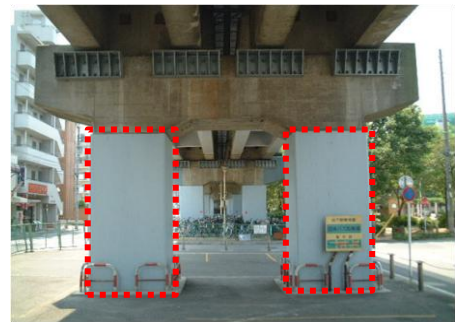
#### (1) さらなる安心の提供

##### ●自然災害対策の推進

##### ・地震発生時に備えた震災対策の実施

首都直下地震等の発生時における早期運行再開を実現するため、従来補強不要と判定されていた高架橋の柱約1,200本を対象に耐震補強工事を実施しています。

平成26年3月末現在、有楽町線新木場駅付近等で工事を行い、383本完成しました。(平成27年度完成予定)



耐震補強イメージ

##### ・大規模水害に備えた浸水対策の実施

大規模浸水対策として、換気口等へ浸水防止機を順次新型へと更新しているほか、駅出入口においては浸水防止対策及び海拔表示を進めています。

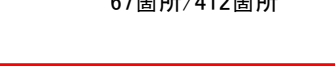
##### 【換気口に新型浸水防止機を設置】

- ・平成27年度完了予定
- 〈平成25年度末設置数(実績)〉  
313機/511機
- 〈平成26年度末設置数(予定)〉  
431機/511機



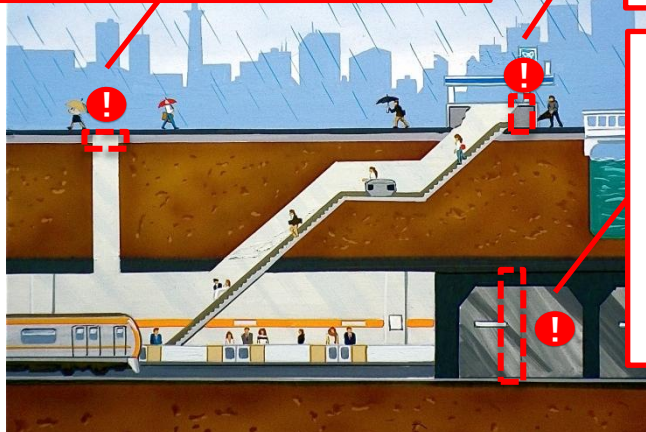
##### 【出入口の完全防水化】

- ・平成34年度完了予定
- 〈平成25年度末設置数(実績)〉  
25箇所/412箇所
- 〈平成26年度末設置数(予定)〉  
67箇所/412箇所



##### 【坑口などに防水ゲートを設置】

- ・平成34年度完成予定



## ●ホームドアの整備

お客様に安心してご利用いただけるよう、ホームでの安全対策（転落事故、接触事故の防止等）としてホームドアの設置を進めています。

平成26年2月に有楽町線千川駅でのホームドアの稼働を開始し、有楽町線全駅でのホームドアの設置が完了し、当社におけるホームドアの設置率は約47%となりました。

今後も銀座線での整備を進めるほか、その他の路線についても相互直通運転先の各社と協議の上、全路線でのホームドアの設置を目指します。



有楽町線ホームドア

## ●輸送改善

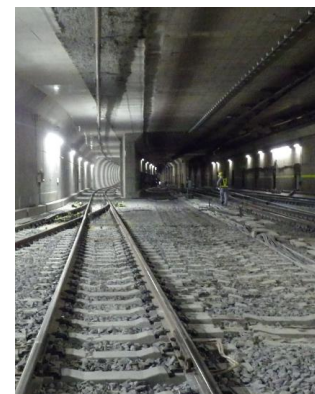
### ・東西線の遅延及び混雑緩和対策

東西線の混雑に伴う遅延の解消を目指した取組を進めており、平成25年度は、門前仲町駅のホーム拡幅工事が完了したほか、茅場町駅のホーム延伸工事、木場駅のホーム・コンコースの拡幅と昇降設備増設等の改良工事及び東陽町駅の出入口増設工事並びに南砂町駅のホーム及び線路増設工事を進めました。



### ・有楽町線・副都心線の輸送の安定化

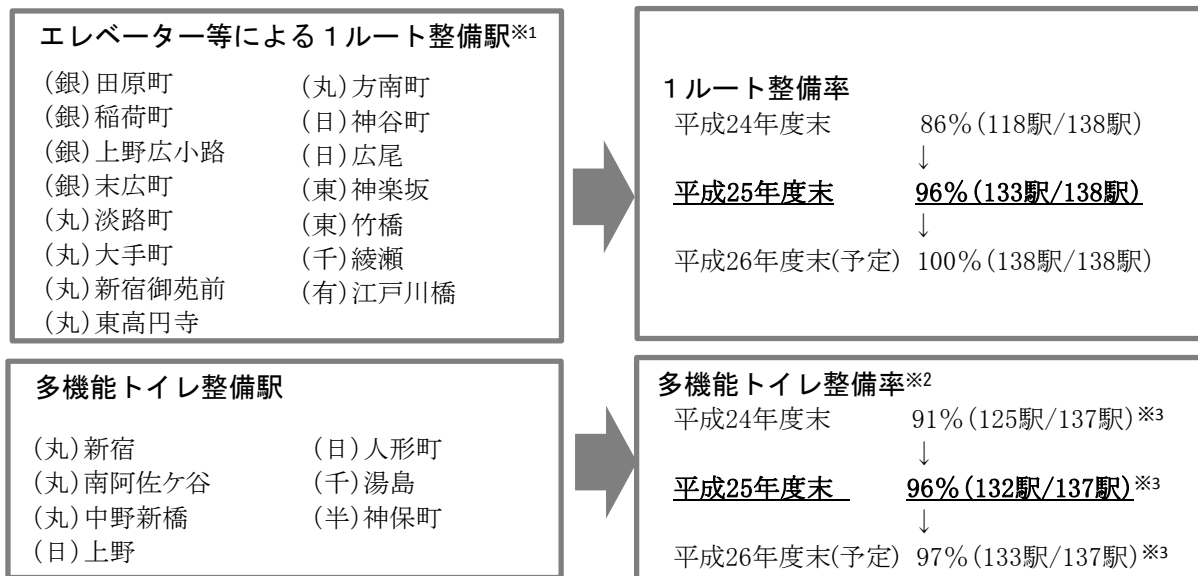
有楽町線・副都心線の遅延の解消や輸送障害発生時の円滑なダイヤ回復を図るため、小竹向原～千川駅間で既に供用を開始している池袋方面行きの連絡線に続き、和光市方面行きの連絡線を設置することにより、平面交差を解消する改良工事を進めています。(平成27年度完成予定)



小竹向原～千川駅間  
連絡線設置工事

## ●バリアフリー設備の整備の推進

エレベーター等による1ルート整備について、平成26年度中の100%整備を目指しており、平成26年3月末現在、96%となる133駅で整備を完了しました。今後も、引続き、積極的な用地の取得や施工のスピードアップにより、2ルート目や乗換ルート等についても整備を加速させます。



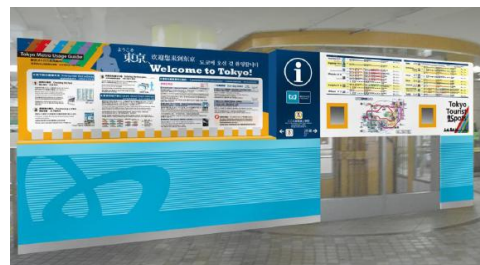
※1 1ルート整備とは、エレベーター、階段昇降機により段差が解消されたルートを確認すること

※2 多機能トイレ整備率とは、車椅子対応トイレも含めた多機能トイレの整備を実施済みの駅の割合

※3 現在移設工事中である銀座線渋谷駅を除いた駅数

## ●外国人旅行者のお客様に東京をご案内

当社では、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、「地下鉄をわかりやすく快適に」という視点で各種施策を実施することを掲げており、「ウェルカムボード」※1や「タッチパネル式デジタルサイネージ」※2を設置しました。デジタルサイネージを活用したご案内を推進することにより、お客様が必要な情報を、必要な時にわかりやすく入手しやすくなると考えています。



銀座線上野駅ウェルカムボードイメージ

※1 人気観光スポットまでの行き方、きっぷの買い方や運賃の調べ方等をご案内。銀座線上野駅及び丸の内線新宿駅に試験設置。

※2 ウェルカムボード内：日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)で乗換ルートや駅情報をご案内。

改札口付近：日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)で駅周辺情報等をご案内。

銀座線浅草駅、銀座線上野駅及び丸の内線新宿駅の改札口付近に試験設置(新宿駅は日本語・英語のみ対応)。

ホーム上：日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)で乗り換えルート等をご案内。

銀座線上野駅及び副都心線新宿三丁目駅のホーム上に試験設置。

## (2) 東京とともに成長

### ●鉄道事業とのシナジー効果を基本とした積極的な関連事業の展開

平成25年4月より、駅コンコースデジタル広告「Metro Concourse Vision (MCV)」による広告配信を開始しました。平成26年3月までに、日比谷線六本木駅など11駅188面へとネットワークを拡大しました。

広告効果の大きい地下空間そのものをデジタルサイネージでジャックすることができるほか、曜日別、時間帯別での広告放映、動画・静止画を配信側で組み合わせでの放映など、多彩な展開が可能となっています。



副都心線池袋駅デジタル広告